

## 採択理由

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進  
課題名：産学官連携による若手研究イノベータの養成  
代表者名：松井 信行  
所属機関名：名古屋工業大学

---

## コメント

先端的融合領域を担う研究者の育成を目標とし、産学官連携を核とした「若手研究イノベーション養成センター」を設置して、4つの先導的融合分野の研究領域を形成し、基礎基盤領域の研究力の強化と共に、技術応用分野の育成という工学系単科大学特有の基本コンセプトの実現を図ろうとする目標は適切である。既に、プロジェクト研究所などで実施している「プロジェクト助教」制度は、テニユア・トラック制度の先行実施でもあり、制度の定着の基礎はできていて、更に本制度を充実させる意義は大きく、人事システムの定着化が十分に期待される。

ただし、コーディネータ制を適用し、若手研究者の研究環境を整備することについては工夫が見られるが、センター所属のテニユア・トラック教員と配属先の既存部局との連携を図り、テニユアポストへ支障のない配属を可能とする工夫が望まれる。また、テニユア・トラック教員のコーディネータからの独立性の確保、若手研究者の国際競争力を高める養成内容の明確化、外国籍研究者へのサポートの充実などを図り、制度の全学展開への道筋を付けていただきたい。